



やまなみ

山形市立大曽根小学校

学校だより

令和4年2月22日

校長

No.14 太田 千春

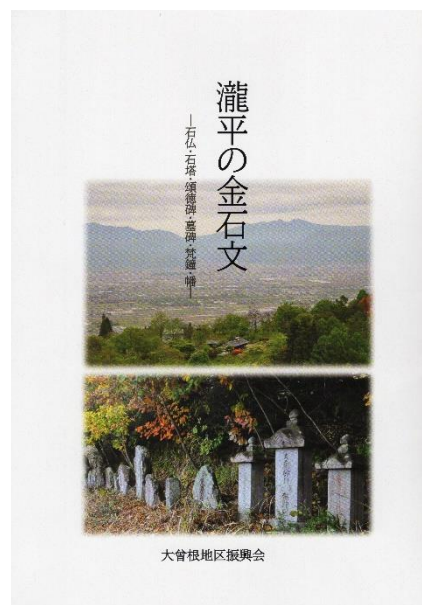
第3回学校運営協議会を開催しました

令和5年2月8日(水)、今年度最終となる学校運営協議会を開催し、今年度の学校評価の結果について各委員の皆様から評価していただくとともに、今年度焦点化した課題解決に向けた具体的な取り組みの成果と課題についてご協議いただきました。①地域と学校、子供の関わりを深める取り組みについては、コロナ禍においても、スポーツラリーや親子ふれあい冬まつりなどの地域活動やコミュニティー・センターへの児童の作品展示、地域指導者を招いての教育活動の展開などをとおして、地域と子供、保護者間の関わりが深まったことなどが成果としてあげられました。また、②みんなで取り組む読書週間づくりについては、PTA活動として取り組んだ親子ふれあい読書や図書館ボランティアによる学校図書館のリニューアルなどを通して、子供が本に触れる機会が増えたことが成果としてあげられました。一方で、学校評価の保護者アンケートでは、読書指導に関する肯定的な回答が58%にとどまっており、引き続き取り組みを継続していく必要があることや、子供とメディアとの関わりを含めた基本的な生活習慣の確立についても目を向けていくことなどが話し合われました。委員の皆様からお聞かせいただいたご意見は、次年度の学校経営基本方針に反映させてまいります。今後とも、よきパートナーとして、本地区の子供の育成にご理解とご協力を賜りますようお願い致します。



「瀧平の金石文」に学ぶ

2月8日(水)、滝平町内会長の庄司一朗さんから大曽根にお越しいただき、大曽根地区振興会が刊行された「瀧平の金石文」をもとに、地域の歴史について教えていただきました。滝平に広がる平らな土地から発見された礎石群が「瑜伽寺」跡と考えられており、その昔、五光が現れた地であること等々、とてもロマンの感じられるお話でした。子供たちの心にも、きっと残ったことと思います。



雪上カルタ大会

2月7日（火）、元気100%委員会の企画・運営による「雪上カルタ大会」が行われました。全校生が心も体も健康で学校に来られるようにしたいと、読み札には自分たちで考えた「健康」をテーマにした言葉が綴られています。笛の合図とともに雪の中を走り出し、札をとっては歓声をあげて喜んでいる様子を見て、担当した委員会の子供たちも嬉しそうな表情をしていました。



親子ふれあい冬まつり

2月5日（土）、大曽根地区子供会育成連合会の主催による親子ふれあい冬まつりが開催されました。競技種目はフィンランドの伝統的なゲームを元に開発された「モルック」。木製の棒「モルック」を投げて「スキットル」を倒します。競技のルールと投げるコツをつかんだ子供たちはファインプレーの連発！得点をあげてはチームのみんなとハイタッチで喜び合っていました。



お雛様を飾りました！

先日、学校の昇降口前廊下にお雛様を飾りました。男雛、女雛に三人官女、五人囃子、右大臣、左大臣、仕丁の三人までそろっています。箆箆や重箱などは、脇に並べさせていただきました。

雛人形には、娘の厄を引き受ける役目があるため、災いが降りかからず、美しく成長して幸せな人生を送れるようにという願いが込められているそうです。学校にお立ち寄りの際には是非ごゆっくりご覧ください。



児童会引継式

2月21日（火）、児童会引継式が行われ、各委員会の委員長を務めた6年生から今年度の振り返りが述べられた後、委員会のファイルが5年生の副委員長に手渡されました。6年生のみなさんは、この1年間、様々な場面で学校の先頭に立ち、下級生をよくリードしてきてくれました。5年生のみなさんも、「こんな学校にしたい」という思いを強く持ち、その実現に向けて頑張ってくれることを期待しています。

